

平成24年11月9日(金) 12:00頃、自転車で**松が丘西交差点**の横断歩道を渡ろうとした人がトラックに轢かれました。



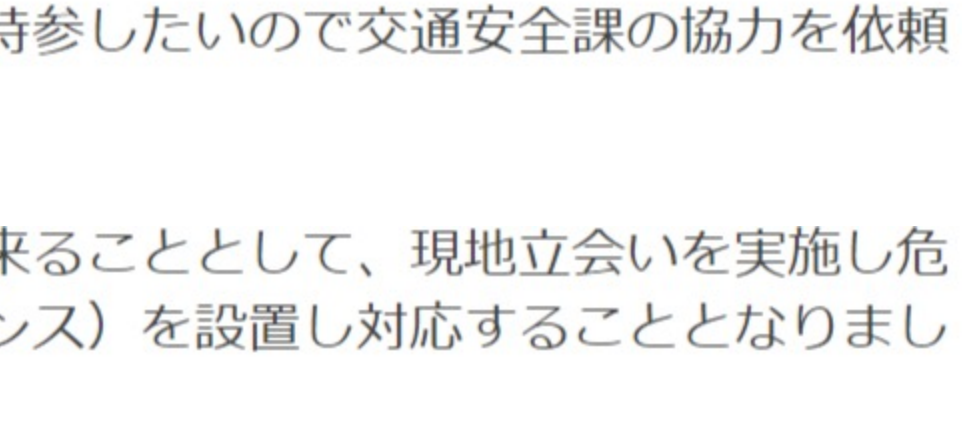
<人身事故現場の松ヶ丘西交差点>

トラックがいなげや方面から荒幡方面に直進し、交差点に侵入したところ横断歩道を渡ろうとした自転車に衝突しました。トラックは衝突を避けようとして、ブレーキを掛けハンドルを左に切ったためにガードレールに激突して止まりました。自転車に乗っていた人は倒れたまま起き上がれず救急車で搬送されました。

事故の原因ですが、荒幡方面から直進して来た自転車が前方の信号**(時差式)**が赤になったため、いなげや方面からの信号も赤になっていると誤認し、横断歩道に入ったものと思われます。自転車が横断歩道を渡る場合、一旦停止をして渡る信号が青になるのを確かめて渡ることが今回の事故防止のポイントだと考えます。

この交差点の横断歩道には歩行者用の信号が無く、車両用の信号(時差式)を頼りに横断歩道を渡っているため、危険性があり、以前から歩行者用の信号設置を要望していたが未だに設置されておりません。

11月12日(月)に所沢市役所に行き、所沢市民部と松が丘西交差点での人身事故の発生状況の説明と今後の対策について打合せをしました。



交通安全課から、「早急に対策するべきことは、今日中に作業指示をします。歩行者用信号の必要性がありますので早急に要望書を吾妻町内会連絡協議会から警察署宛に提出してください。」との話がありました。

鈴木会長から、要望書提出の際は、所沢警察署長に直接持参したいので交通安全課の協力を依頼しました。

今回の人身事故に対する、再発防止対策として早急に出来ることとして、現地立会いを実施し危険箇所の確認と歩行者の横断の注意表示看板(電柱とフェンス)を設置し対応することとなりました。

所沢松が丘自治会 会長 加藤芳夫

[コメント](#)

1.自治会連絡事項：防犯ニュース 24-10号

《24年1月～9月犯罪発生状況》

所沢警察署資料より ()は23年1～9月発生件数

	総発生件数	侵入盗	車上狙い	自転車盗	その他
松が丘1丁目	7 (1)	4		2	1 (1)
松が丘2丁目	8 (1)	8			(1)
吾妻地区合計	234 (282)	47 (58)	16 (18)	67 (93)	104 (113)

・吾妻地区全体では昨年より発生件数は大幅に減少しています。
 ・松が丘地区では、1月から5月の間に空き巣狙いが11件発生しましたが、その後2人の犯人が検挙され、しばらく空き巣狙いの事件の発生はありませんでした。
 しかし残念なことに9月に1丁目(1-11エリア)で留守中に窓を破られ現金などを盗まれる空き巣狙いが1件発生しました。
 ・2丁目では門柱の上において置いていた「シーサー」(獅子)の置物がなくなっていた事案なども発生しました。

**周囲には「隙(すき)はないか」と狙っている犯人が常にいることを意識しましょう！
 「必ず戸締りを確認する」「窓には補助錠をつける」などこれからも『みずから防犯』を心がけましょう！**

防犯担当理事 林、宮下

[コメント](#)

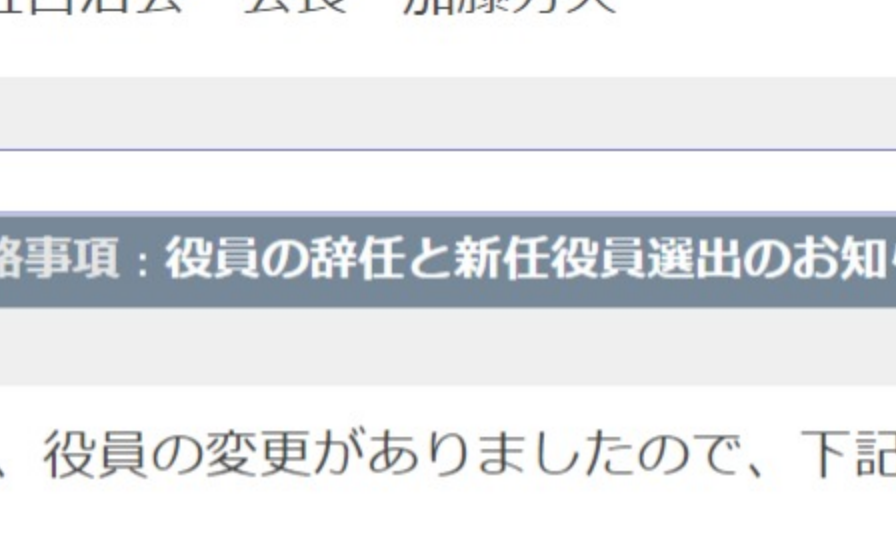
1.自治会連絡事項：柏市からの視察回！ 所沢市自治連合会との情報交換会が実施されました

平成24年10月19日(金) 10時から、所沢市役所 8階 大会議室において、柏市ふるさと協議会連合会(会長：藤田武志氏)の研修会があり、柏市の自治会・町内会から代表者約60名がバスで所沢市に來られ、所沢市自治連合会(会長：本橋源一氏)との情報交換会が実施されました。

柏市ふるさと協議会連合会より、所沢市が平成22・23年度に実施の「地域の底力支援事業」で表彰された、所沢松が丘自治会の「ホームページ立上げ」と東住吉町内会(会長：鈴木由紀子氏)の「環境美化によるコミュニケーション作り」についての説明のご希望が市役所に入り、上記の開催となりました。

所沢松が丘自治会からは、ホームページ担当の岩本副会長と一緒に、導入経緯とその効果などを説明しました。

昨年の東日本大震災の時、携帯や電話が繋がらない中インターネットは利用できたことから、災害時にも活用できることなどその効果を、インターネットに接続して自治会ホームページの画面を見せながら説明しました。



<写真提供：所沢市市民部コミュニティ推進課>

所沢松が丘自治会 会長 加藤芳夫

[コメント](#)

1.自治会連絡事項：役員の変更と新任役員選出のお知らせ

この度、役員の変更がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 辞任役員
編集・書記、HP担当理事 野口 茂

2. 新任役員
編集・書記、HP担当理事 野口 てい子

(注)自治会規則第18条(3)および第21条(4)に従い、10月7日の役員会で役員変更は承認されました。

所沢松が丘自治会 会長 加藤芳夫

[コメント](#)

1.自治会連絡事項：飯能所沢線(あまいけ交差点)暫定開通に伴う関係者会議

1. 開催日時：平成24年10月4日(木) 13:30～16:00
2. 出席者：埼玉県土整備事務所、所沢警察署規制課、所沢市建設部、建設総務課、道路維持課、計画道路課
南陵中学校・南小学校および南小・南陵中学校PTA
吾妻地区町内会連絡協議会(会長・関係町内会長)
市議会議員、吾妻コミュニティセンターなど 44名

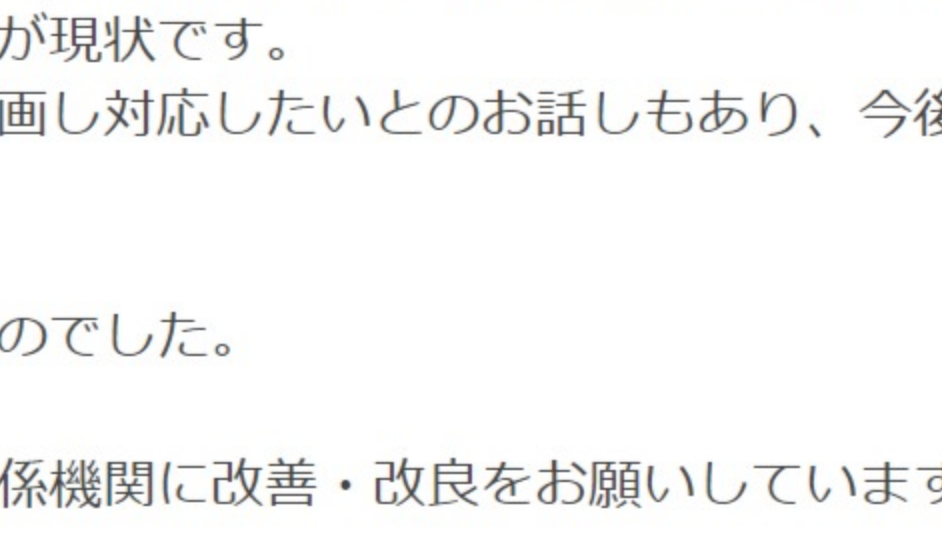
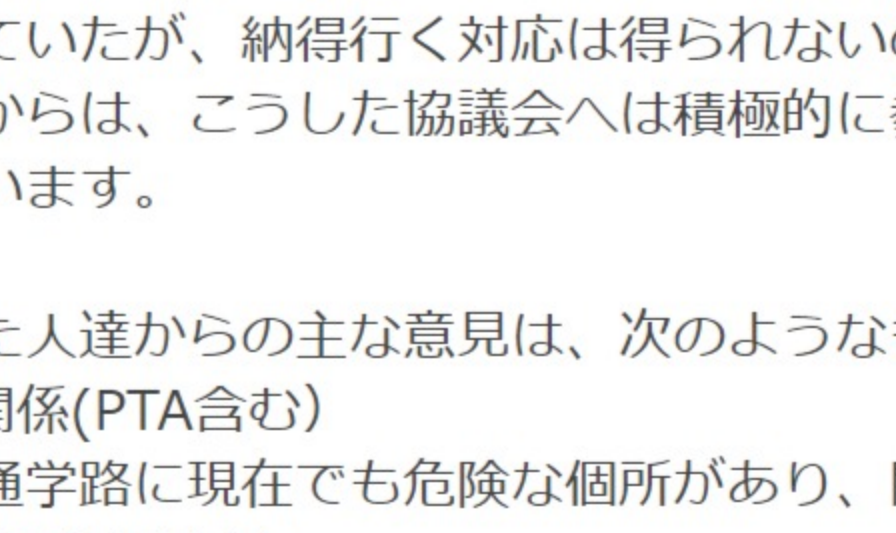
最初に、あまいけ交差点になる場所で、平成27年春の暫定開通に伴う説明を受けた後、交通量増加に伴う通学路の状況や危険箇所などを「じゅうにん坂方面と荒幡交差点方面」に分かれ実際に全員で歩いて確認しました。

確認作業の後、近くの久米上組集会所において、行政側から今後の取り組みについて説明があり、吾妻地区町内会連絡協議会から全体的な問題提起や学校・PTAからの質疑と要請等があり真剣な討議が行われました。



<行政側担当者による説明>

<吾妻連協からの本日の立ち合い主旨確認>



<通学路の安全確認をするPTAの皆さん>

<久米上組集会所での質疑>

行政側から、『飯能所沢線』に接続する『所沢村山線』の重要性を認め、都市計画道路として県と市が分担して事業を進めるとの説明が新たにありました。
 しかし、暫定開通に伴う通学路の安全対策などに説明がおぼなかつたのは残念でした。
 同地区は、従来から学校・PTAから市や警察に信号機設置や歩車道分離等通学路の安全対策の要請をしていたが、納得行く対応は得られないのが現状です。
 行政側からは、こうした協議会へは積極的に参画し対応したいとお話しもあり、今後に期待したいと思います。

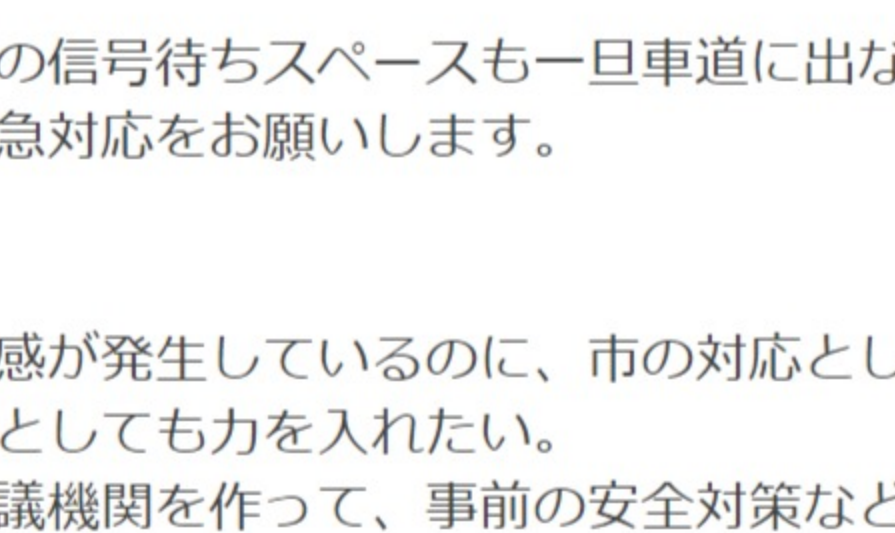
参加した人達からの主な意見は、次のようなものでした。

- (1) 学校関係(PTA含む)
 ・児童の通学路に現在でも危険な箇所があり、関係機関に改善・改良をお願いしていますが、充分に実施していません。
 ・今後の暫定開通によって、通学路の安全確保がより厳しいものになることが予想され、事前の安全対策を強く要望します。
 ・通学路の範囲は広く、一部分が改善されても事故はどこで起きるかわからずに、計画段階での十分な安全対策をお願いします。
 ・中学生の通学路は、自宅より一番近い大きな通りに出て、歩道を通って通学するように指示しており、その歩道が不安な状況(歩車道分離やガードレールもない状況)では、子供たちの安全確保が危ぶまれます。



<柳瀬川沿いの通学路を確認する行政側担当者>

<柳瀬川転落防止のガードレール>



<共開橋信号待ちのスペース>

・平成27年春の暫定開通を優先することなく、これらの安全対策をまず始めに実施して頂きたい。
 ・市及び県は、『飯能所沢線』のあまいけ前交差点迄の暫定開通がもたらす影響について、毎年、市の教育委員会に提出している通学路の危険箇所の改善要求などを、真摯に受け止めて対応策を検討実施すべきです。今日の立ち合いでの指摘事項のみの対応でなく、もっと身近なものについて対応していただきたい。
 ・市が実施してくれた共開橋の信号待ちスペースも一旦車道に出ないと使えない等、安全対策が不十分です。橋の幅幅も含め至急対応をお願いします。

- (2) 市議会議員
 ・吾妻地区でこれほどの危機感が発生しているのに、市の対応としての予算処置が不足している。これら対策の早期実現に議会としても力を入れたい。
 ・県も市も関係者は必要な協議機関を作って、事前の安全対策など実施するよう要望します。

- (3) 吾妻地区町内会連絡協議会(各町内会長他)
 ・あまいけ前交差点までの暫定開通は、『所沢村山線』が完備するまで、受け入れられない。
 ・ましてや一部区間だけのわずかな距離の部分開通など考える余地もない。
 ・荒幡交差点迄及びその先も、『所沢村山線』の安全確保(歩車道分離やガードレール)が不十分で、荒幡小学校への通学路は危険極まりないのに、今後とも対策がゼロでは納得できない。
 ・柳瀬川沿いの車道には、歩車道分離もガードレールもないところが多く、現在でも危険が一杯であるが、これらについては、歩車道分離がないのはなぜか。
 ・JAのま野前交差点などは信号機設置や安全対策を毎年要求しているが、今日まで実施されていません。
 ・松が丘住宅も抜け道や迂回路の通過車両による交通事故や環境破壊が大幅に増加することが予測され、「春の台宅地」と同様に不十分な地元対策などで交通事故の悪化は許されず、皆さん指摘の改良改善が出来るまで暫定開通は受け入れられない。
 ・地元で協力要請するためには、現在の『飯能所沢線』の交通量や東京都への延伸計画及び第3工区、『所沢村山線』などの課題や進捗状況を報告するため、県の責任ある担当者が来て、関係者と話し合いをすべきで、『所沢村山線』のあまいけ交差点付近の安全対策だけでは、地元住民への説明も不十分で理解を得られない。
 ・現在の吾妻地区の道路事情からは、簡単に幅幅や改良は、地権者との協議もあり、また、予算処置も伴わずに対応が遅くなるばかりである。それまでの間、現在の町内の道路を安全かつ有効的に活用する方法を地元と話し合って、模索すれば出来ないことではないと思います。車両進入禁止、一方通行、交互通行、時間規制、速度規制などで対応出来るものがあり、県も市も警察も知恵を出し合って、地元と再度協議を実施して頂きたい。

- (4) まとめ
 『所沢村山線』は、所沢市内の産業構築の活性化に不可欠な重要な都市計画道路であり、同時に地域の環境保全と子供たちの通学路(スクールゾーン)の安心安全の確保に重要な役割を担っている幹線道路であります。
 吾妻地区町内会連絡協議会としては、上記の各事項についてもできるものから着手し、『所沢村山線』の早期全面開通を目指して、県も市も全力で取り組んで頂きたい。

吾妻地区町内会連絡協議会 会長 鈴木由紀子

所沢松が丘自治会 会長 加藤芳夫

[コメント](#)